

BUDŌ

NEWS

今月のニュース

2014 年日露武道交流年記念

鏡開き式・武道始め

河村建夫大將軍による鏡開き

新しい年の幕開けを豊寿ぐ 鏡開き式・武道始め

2014年日露武道交流年記念平成26年鏡開き式・武道始め（主催Ⅱ日本武道館、後援Ⅱ外務省）は1月13日、日本武道館で開催された。当日は晴天に恵まれ、武道関係者、愛好家ら3000人が参加して、武道功労者・優良団体の表彰式や鏡着初め式、武道9種目の模範演武、武道初め（交流稽古会）が盛大に行われた。

また、昨年4月に行われた日露首脳会談の際に、スポーツ分野における日露交流を発展させる重要性について、安倍晋三内閣総理大臣とウラジーミル・プーチンロシア連邦大統領の間で一致し、本年を「日露武道交流年」とすることで合意。今回の鏡開き式・武道始めは記念事業の幕開けとして行われた。

鏡開き式・武道始めにはロシア武道代表团が来日して参加。鏡着初め式では勇ましい鎧武者姿を披露した。

定刻の正午、大太鼓の合図で鏡開き式・武道始めが開催された。

開会宣言の後、国歌斉唱に続いて、主催者を代表して松永光日本武道館会長が挨拶に立った。

「新年明けましておめでとうございます。新しい年を迎えて、本年も武道をしつかり行うという決意を新たにします。今年も武道を振興発展させて、日本人にとつてますますプラスになるように頑張つていきましょう」

次に櫻田義孝文部科学副大臣が祝辞を述べた。

「武道はその修練を通して、心を磨き、体を鍛え、礼節を尊重する態度を養うなど、豊かな人間形成に寄与

平成26年 2014年日露武道交流年記念
鏡開き式・武道始め式
・鏡開き・鎧着初め・縁起空式・武道始め式・武道始め式・武道始め式・武道始め式



鎧着初めで大將軍を務める河村建夫日本武道館常任理事

する伝統文化であります。文部科学省としても、中学校において必修となった武道を安全かつ円滑に実施するため、平成26年度予算においても武道の指導体制の充実に図ってまいります。引き続き、皆様の一層のご支援・ご協力をお願いいたします」
続いて上月豊久外務省欧州局長より岸田文雄外務大臣の祝辞が述べられた。

「昨年4月、安倍総理大臣は我が国の総理大臣として10年ぶりにロシアを公式訪問し、プーチン大統領と首脳会談を行って2014年を日露武道交流年とすることで合意いたしました。今回は国内の武道関係者が一堂に会するこの鏡開き式・武道始めにロシアから代表団が参加することになり、これをもって今年の日露武道交流年の幕開けとすることができました。本年秋には日本武道館による大規模な代表団をロシアに派遣していただくことが決まっております。日露武道交流年における日本武道館の全面的な協力に心より感謝申し上げます。日露武道交流年を契機として、日本とロシアの人々の相互理解が深まり、今後の日露関係の発



全軍で関の声を上げる



副将軍の二人が樽酒を鏡開き



神前での誓いの言葉を大将軍が奉読

展のための礎いしずえがますます強固となることを願っています」

次にグリゴリー・カベルスキーロシア連邦スポーツ省夏季スポーツ種目及び2018年FIFAワールドカップ準備調整局長が挨拶した。

「今年は日露武道交流年となっております。これは歴史的に前例のない日露スポーツ交流における取組となっております。日露武道交流年において、会議、大会、演武会などが様々な種目で行われることになっております。その中で我々は各種目の普及を進めてまいります。また、今年11月にモスクワで行われる日本武道代表団演武会を歓迎いたします。これらの交流の中で日露交流がより密接に盛んになると思っております」

続いて武道功労章および武道優良団体の表彰式が行われ、鎧着初めに移った。

今年の鎧着初めは河村建夫日本武道館常任理事が大將軍を務め、副將軍として、中村勇作全日本空手道連盟副会長、小菅一憲日本甲冑武具研究保存会副会長が脇を固めた。

三献の儀、神前での誓いの言葉の奉読の後、大將軍は掛け矢で大鏡餅



グリゴリー・カベルスキー
ロシア連邦スポーツ省夏季スポーツ種目及び
2018年FIFAワールドカップ準備調整局長



上月豊久外務省欧州局長



櫻田義孝文部科学副大臣



松永光日本武道館会長



【武道功労章受章者一覧】

- ▽ 剣道 上野貞紀 (神奈川)
 - ▽ 弓道 尾方 虹 (熊本)
 - ▽ 相撲 田中英壽 (東京)
 - ▽ 空手道 木島明彦 (大阪)
 - ▽ 合気道 嶋本勝行 (大阪)
 - ▽ 少林寺拳法 福家祥弘 (福島)
 - ▽ なぎなた 辻村光子 (東京)
 - ▽ 銃剣道 荒木秋男 (大阪)
 - ▽ 日本武道館 河村建夫 (東京)
- 【武道優良団体一覧】
- ▽ 柔道 東海大学男子柔道部
 - ▽ 剣道 全日本実業団剣道連盟
 - ▽ 弓道 川口市弓道連盟
 - ▽ 相撲 日本医科大学相撲部
 - ▽ 空手道 帝京大学空手道部
 - ▽ 合気道 三菱合気道部
 - ▽ 少林寺拳法 大阪府少林寺拳法連盟
 - ▽ なぎなた 東京都なぎなた連盟
 - ▽ 銃剣道 尽誠学園高等学校銃剣道部

を、副將軍は鏡樽を開いた。兜かぶとを着用した大將軍が扇を打ち振りながら「えい、えい！」と呼びかけると、全軍が「おう！」と応え、鬨とぎの音が館内に轟とどろいた。

前軍から出立し、中軍、後軍が続いて大道場を練り歩き、鏡開き式は幕を閉じた。

次に各道代表者による模範演武が弓道、合気道、銃剣道、空手道、なぎなた、少林寺拳法、柔道、剣道、相撲の順に披露された。

模範演武が終わると、観客席にいた参加者たちが続々と大道場に集まり、会場を埋め尽くして、弓道を除く現代武道8道の武道始めが行われた。

最後は参加者全員に汁粉や鏡開きで開いた樽酒が振る舞われ、大道場は新年を祝う雰囲気きずなに包まれた。





●河村建夫日本武道館常任理事

「鎌倉時代からの古式床しい日本の伝統文化をしつかり引き継いで、その甲冑の中にある古の武士の心意気を感じました。重い鎧を着て動くとしたら、相当の鍛錬が必要で、昔の武士が鍛えていたことを実感しました。鎧を着ていたから、腰や足、首に圧力がかかりますから、日頃から武道で鍛えておかないともちませんよ。」

今年には日露武道交流年ということで、特にプーチン大統領が柔道をやっている、ロシアでもそうい

う機運が高まり、武道を通じた日露友好が高まるというのは大いに結構なことです。今年には日露関係は盛り上がりと思っています。

私は毎年書初めをしています。露友が今年、万の馬が勇ましく走り抜ける感じの、万馬奔騰^{ばんとう}という言葉を選びました。物事の勢いのいいさまをいいます。今年はそのような年になりたいと思います。安倍政権を支える立場からもアベノミクスがこのままうまく循環して、経済の好循環を作る年にしたいと思っています」

ロシア武道代表団歓迎レセプションを開催

鏡開き式・武道始めが行われた1月13日17時より東京・飯田橋のホテルグランドパレスにおいて、ロシア武道代表団歓迎レセプションが開かれ、日本武道館の松永光会長、白井日出男理事長、上月豊久外務省欧州局長をはじめ、武道各団体の代表者ら約50名が集まって、エヴゲーニー・アフアナシエフ駐日ロシア連邦特命全権大使とロシア武道代表団を歓迎した。

はじめに松永光日本武道館会長が歓迎の挨拶を述べ、続いてグリゴリ

ーカベルスキーロシア連邦スポーツ省夏季スポーツ種目及び2018年FIFAワールドカップ準備調整局長が「日露武道交流年の成果として武道その他のスポーツが新しい人気を得るようにしたいと思っています」と挨拶を行った。

次に上月豊久外務省欧州局長が挨拶で、昨年4月の日露首脳会談の際に安倍晋三首相がウラジミール・プーチンロシア連邦大統領に対し、一昨年行われたインド共和国派遣日本武道代表団の写真を披露し、それをプーチン大統領が興味深く見ていたというエピソードを紹介した。

来賓のエヴゲーニー・アフアナシエフ駐日ロシア連邦特命全権大使は「武道による交流は日露関係において非常に大事な意味を持つと思います。本日はロシアにとっても大切な一日となりました」と挨拶。

乾杯は白井日出男日本武道館理事長の発声で行われ、歓談ではロシア武道代表団と現代武道の各代表が武道談義に大いに花を咲かせた。話の尽きぬ中、会はお開きとなった。



白井日出男理事長による乾杯



グリゴリー・カベルスキー ロシア連邦スポーツ省局長への インタビュー

「鎧着初めについて事前に聞いては
いましたが、実際に自分がやってみ
るとやはり全然違って、少しでも昔
の侍の気分が味わえたと思っていま
す。侍については戦いだけではなく
て教養を持った人たちで、日本のた
めに多くのことをした人々だという
知識を持っていますが、今日でわか
ったことは侍でいることは大変なん
だなと(笑)」

カベルスキー氏はロシア連邦スポ
ーツ省の局長として、主に夏季スポ
ーツに関する事案の許認可と201
8年に行われるFIFAワールドカ

ップの準備に携わっている。

「スポーツの発展はロシアの国家政
策です。ロシアである種目が認めら
れるためには、連盟や団体がなけれ
ばならず、地域で発展していること
も重要です。ロシアでは昨年11月、
サンクトペテルブルクで行われたコ
ンバットゲームズで競われた種目が
人気ですな」

2014年は日露武道交流年とな
り、日露のスポーツ交流にとっても
大切な年となる。

「ロシアと日本において武道がもっ
ともっと発展、普及するよう、そ



鎧着初めに参加したロシア武道代表団の三氏



NHKのインタビューも行われた

して二つの国が相互理解し、親交が
深まる年になると思います。ロシア
武道代表団として今回の訪日で日本
側と様々な折衝をして、この日露武
道交流年を充実したものに行いたい
と思っています」

カベルスキー氏は親日家である
という。
「私は日本料理が好きで、お寿司が
食べたいですね。今回初めての訪日
にあたって、ロシアでいろんなこと
を聞いてきましたが、聞くのと見る
のは違いますね。日本は本当に素晴
らしいと思います」

模範演武





弓道

【模範演武】

▽弓道Ⅱ「一つの坐射礼」(土佐正明 教士八段、滝上三郎教士七段、齋藤 往子教士七段)

▽合気道Ⅱ「基本技(投げ技・固め技)、応用技(短刀取り)、自由技」(植芝 充央合気道本部道場長代行、金澤威 七段、桂田英路六段、鈴木俊雄五段、小谷佑一五段、内田直人四段、日野 皓正四段、徳田雅也参段)

▽銃剣道Ⅱ「銃剣道の形、銃剣道応用 技・試合」(唐川敏博教士八段、園 田利夫錬士六段、谷山健夫錬士六 段、保志智康錬士六段、栗原毅錬士 六段、鈴木孝信錬士六段、菅原誠錬 士六段、栗原惇錬士六段、小林継人 五段、山田晃裕五段)

▽空手道Ⅱ「吟詠(空手道 観空大)」 (岡本沙織三段、在本幸司三段、名 倉亮太三段、西原凌太三段、橋爪和 規二段、林田至史二段、福田凌也二 段、遠藤千夏二段、磯村美季二段、 古澤香寿美二段)

▽なぎなたⅡ「団体基本八方振り、各



少林寺拳法

部位の打突、全日本なぎなたの形」 (中村ゆり子範士、前畠ひろみ教士、 谷本良子教士、徳地昌代教士、紫関 譲子錬士、吉井和代錬士、中島由香 里五段、照井順子五段、新井伸枝四 段)

▽少林寺拳法Ⅱ「単独演武、団体演武、 組演武、模範演武」(荒井章士准範 士六段、石井明仁大拳士五段、秋元 宏介中拳士三段、滝本詩歩中拳士三 段、勝柴友子中拳士三段、前田里海 中拳士三段、三浦佳奈中拳士三段、 岩井久子准拳士初段、大浦薫准拳士 初段、郡山しずか三級、伊勢歩実中 拳士三段)

▽柔道Ⅱ「古式の形」(瀧澤義人七段、 小林修六段)

▽剣道Ⅱ「日本剣道形」(梯正治範士 八段、濱崎満範士八段)

▽相撲Ⅱ「基本動作と技、決まり手の 説明」(舛田守七段、後藤鷹輔参段、 直江優真参段、金子尚平参段、坪山 晃大参段、中山将太参段)



相撲



武道始め



おしるこ会



日本武道館発行の単行本 (本をクリックすると、詳細が表示されます)



日本の武道

日本武道館 編

(B5判・上製・箱入・526頁)



BUDŌ: THE MARTIAL WAYS OF JAPAN

日本武道館 編

翻訳・編集:アレキサンダー・ベネット

(B5判・上製・DVD付・336頁)

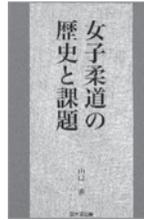


役に立つ 少年柔道指導法

講道館道場指導部課長

向井 幹博 著

(A5判・並製・DVD付・414頁)



女子柔道の 歴史と課題

筑波大学体育系准教授

山口 香 著

(四六判・上製・412頁)



マンガ・ 武道のすすめ

漫画家・別府大学教授

田代しんたろう 著

(B5判・並製・236頁)



武道における 身体と心

神戸学院大学教授

前林 清和 著

(四六判・上製・370頁)

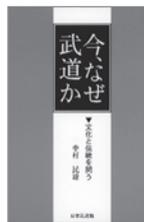


柔道は すばらしい

柔道塾紀柔館館長

腹巻 宏一 著

(四六判・上製・310頁)



今、なぜ武道か

—文化と伝統を問う—

福島大学教授

中村 民雄 著

(四六判・上製・370頁)

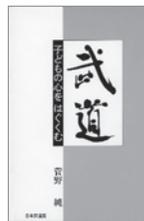


大先輩に聞く

月刊「武道」記者

田谷 将俊 著

(四六判・上製・376頁)



武道 子どもの心を育む

早稲田大学教授・教育カウンセラー

菅野 純 著

(四六判・上製・410頁)



柔道の国際化 —その歴史と課題—

講道館図書資料部長

村田 直樹 著

(四六判・上製・552頁)



嘉納治五郎師範に学ぶ

講道館図書資料部長

村田 直樹 著

(四六判・上製・292頁)

講道館鏡開き式

柔道関係者600名が新年を祝う

講道館鏡開き式は1月12日、講道館大道場で約600名の参加者を集めて開かれた。

はじめに館員を代表して関根忍九段が賀詞を述べた。

「柔道は単なるスポーツではなく、人間形成の手段であるという柔道の理念が徐々に理解され、世界各国で広く行われておりますことは、喜ばしいことではあります。しかし、近年あまりにも組手争いにとらわれる傾向は、柔道本来の姿が失われているように感じます。国際化に伴い多



上村春樹講道館長

少の変化は止むを得ないとしても、柔道の歴史まで失われることがあってはなりません。その傾向に歯止めをかけ正しい方向に軌道修正するのは日本柔道界の責務でもあります。新春を期して改めて講道館本来の正しい柔道の推進に全力を傾ける決意を申し上げます」

続いて、上村春樹講道館長が挨拶に立った。

「今こそ、嘉納治五郎師範の遺訓に立ち返り、我々は精力善用、自他共栄を地道に実践して、そして柔道の普及振興を図り、後世に正しく柔道を伝えていく責務を果たしていかねければならないと思っております」

次に形の演武が行われ、7つの形が披露された。続いて、強化選手が元立ちとなり、少年部、女子部、青年部の順で乱取稽古が行われた。その後、少年投の形（手技・腰技・足



少年投の形

技)が披露された。続いて、昇段者が発表され、上村館長から各段位の

代表者に証書が授与された。

恒例のしるこ会では、参加者全員でしるこを食し、新年を祝った。最後は、西岡弘九段の発声で万歳三唱を行い、式はお開きとなった。



しるこ会

【形演武者】

▽投の形Ⅱ取・大島修次七段、受・鮫島康太四段▽固の形Ⅱ取・下野龍司五段、受・大館斗志爾参段▽極の形Ⅱ取・道場良久七段、受・眞喜志慶治六段▽柔の形Ⅱ取・白野恵女子三段、受・白野光女子三段▽講道館護身術Ⅱ取・向井幹博七段、受・鉄谷竜三六段▽五の形Ⅱ取・佐藤正八段、受・宗義明八段▽古式の形Ⅱ取・福島美智男八段、受・榎義治八段▽少年投の形Ⅱ取・志村洪太(講道館少年部)、受・久保麗央(講道館少年部)、徳田美空(東村山柔道クラブ)、受・須山健介(東村山柔道クラブ)

合気会鏡開き式

700名が集い盛大に開催

合気会鏡開き式は1月12日、合気道本部道場で約700名の参加者を集めて開かれた。

3階に設けられた会場では、座りきれない参加者が立ち見の列をなしました。午後2時、定刻どおりに式は始まり、始めに植芝守央道主が年初の挨拶を述べた。

「開祖の創始された合気道の理念と技法を正しく次世代へ繋いでいくことが私の責務だと思っております。そのためには、皆様と共に日々の稽古を大切にして、しっかりと歩んで

いくことだと思っております」

次に合気会役員を代表して古藤昇司常務理事が挨拶に立った。

続いて植芝道主の奉納演武が披露された。その後、推薦昇段者発表並びに證書授与を行った。

昇段者の発表は、宮本鶴藏本部道場指導部師範、證書立会人は、多田宏本部師範が行った。二段から八段位の代表者に植芝道主から直接、證書が手渡された。なお、初段位は全員が海外在住のため、代表者は欠席した。初段から八段までの昇段者は、合計680名との発表があった。

直会なほらひの前には、多田宏本部師範が「今年も丁寧に丁寧に稽古を行っていきましょう」と挨拶した。

続いて赤沼二己男理事の発声で乾杯が行われた。直会では参加者全員にすることが配られ、和やかな雰囲気の中、新年を祝い合った。



植芝守央道主



昇段證書授与



直会



奉納演武

新年に500名の拳士が元気に演武

1月12日、「2014年少林寺拳法連盟鏡開き・稽古始め」が香川県多度津町にある一般財団法人少林寺拳法連盟本部にて開催された。鏡開き式当日は、気温も冷え込み肌寒く感じられたが、全国各地より800名を超える拳士・保護者、関係者が訪れ、新年の幕開けを祝った。

長を主座とする鎮魂行、そして全体基本が行われ、会場全体には大きな気合いが鳴り響いた。その後、一般部は第二錬成道場に移動し、錬成道場（少年部）とそれぞれ会場を分け、初稽古を開始した。

午前9時30分、会場である錬成道場には全国から参加した一般部と少年部の拳士、保護者、関係者が集まり「鏡開き・稽古始め」が開催された。はじめに、荒井章士振興普及部部

少年部の会場である錬成道場では、稽古に先立ち、連盟職員より今年の干支である「午年」にまつわる講話が行われた。その後、資格別に分かれ、速い格好いいなど、「午」をイメージして、速い突き蹴りを行ったり、また、格好いい構えを見せるなど、意識づけを行った。

最後に、少年部数組が技術を発表し、道場では少年部の大きく元氣溢れる気合いが鳴り響く中、保護者、関係者からは大きな拍手が送られた。

一般部では、各指導員のもと、剛法と柔法の技術指導が行われた。剛法では「突天一」「蹴天三」等、柔

法では「逆小手」「押小手」等の法形を指導。

最後に指導総括として、新井庸弘少林寺拳法連盟会長よりポイントをと絞った指導が行われ、参加者からは的確な指導で分かりやすいと好評であった。

午前11時30分、新井会長により年頭挨拶が行われた。昨年8月、大阪で開催された「2013少林寺拳法世界大会 in Osaka, Japan」並びに連盟本部にて開催された「2013国際講習会」の報告の後、「8月の全国高等学校少林寺拳法大会か



少年部稽古の様子

ら、インターハイの正式種目となります。また11月には、さいたまスーパーアリーナにて、埼玉県少林寺拳法連盟のご協力のもと、少林寺拳法全国大会が開催されます。どの大会もたくさんの拳士に参加していただき、大会を盛り上げていきましょう。そして今年も、拳士一人ひとりが創始者宗道臣（開祖）の志を胸に、もう一度原点に立ち返り、今年一年、新たな気持ちで稽古に取り組んでまいります！」と挨拶がなされた。

続いて演武披露に移り、様々な世代の少林寺拳法を披露する趣旨にもとづき、①小学生②中学生③高校生④大学生⑤単独演武⑥法形披露⑦女性護身術⑧組演武（⑤～⑧は本部職員）の順に行われた。それぞれ迫力とスピードある演武に、会場からは大きな拍手が沸き起こった。その後は、全国からの参加者による「演武会」が行われ、約500名が元氣よく演武を披露した。

終日、新春にふさわしく、境内では餅つきを行い、ぜんざいが振る舞われ、拳士や保護者でひときわ賑わっていた。



新井庸弘会長

法では「突天一」「蹴天三」等、柔

の全国高等学校少林寺拳法大会か

（文・写真）一般財団法人少林寺拳法連盟

第30回若潮杯争奪武道大会

剣道男子 高輪高(東京) 柔道女子 敬愛高(福岡) が三連覇

第30回若潮杯争奪武道大会(主催 日本武道館、国際武道大学)が12月26日、27日に国際武道大学で開催された。初日は剣道、2日目は柔道となぎなたで熱戦が展開された。

□剣道の部(男女各24チーム)

5人制で行われ、予選は3チームによるリーグ戦、決勝は各リーグ1位のトーナメント戦で争われた。

男子決勝は、高輪高(東京)と育英高(兵庫)が対戦。勝者数、取得



剣道男子の部決勝

本数共に1-1のため代表戦となり、高輪高・阿部凌大が面を決め、同高は3連覇を達成した。

女子は守谷高(茨城)が麗澤瑞浪高(岐阜)を2-0で降し、優勝を果たした。

□柔道の部(男女各16チーム)

男子5人制、女子3人制で行われた。予選は4チームのリーグ戦、決勝は各リーグ上位2チームによるトーナメント戦で争われた。

男子は決勝で崇徳高(広島)が神



柔道女子の部決勝

戸国際大附属高(兵庫)を1-0で制して初優勝。女子は敬愛高(福岡)が松商学園高(長野)を1-0で降して3連覇を遂げた。

□なぎなたの部(男子24名、女子48名)

男女共に予選は3人のリーグ戦、決勝は各リーグ1位のトーナメント戦で争われた。

男子決勝は、石橋立成(汎愛高)が西川颯人(埼玉栄高)から面を奪い一本勝ちで勝利した。

女子決勝は、野中春花(長崎明誠高)が福岡歩(奈良大附属高)から面を決めて一本勝ちし、優勝を決めた。



なぎなた男子優勝
石橋立成(汎愛高)



なぎなた女子優勝
野中春花(長崎明誠高)

【大会結果】

□剣道

▽男子 ①高輪高(東京) ②育英高(兵庫) ③秋田市立秋田商業高(秋田)、横浜商科大高(神奈川)

▽女子 ①茨城県立守谷高(茨城) ②麗澤瑞浪高(岐阜) ③桐蔭学園高(神奈川)、筑紫台高(福岡)

□柔道

▽男子 ①崇徳高(広島) ②神戸国際大附属高(兵庫) ③国士舘高(東京)、天理高(奈良)

▽女子 ①敬愛高(福岡) ②松商学園高(長野) ③埼玉栄高(埼玉)、土浦日大高(茨城)

□なぎなた

▽男子 ①石橋立成(大阪市立汎愛高) ②西川颯人(埼玉栄高) ③山信田泰輔(秋田県立大曲高)、中川泰輔(安城学園高)

▽女子 ①野中春花(長崎県立長崎明誠高) ②福岡歩(奈良大附属高) ③中村智華(岩手県立釜石商工高)、清水瑞希(狭山ヶ丘高)



好評発売中

武道の礼法

小笠原 清忠

(弓馬術礼法小笠原教場
三十一世宗家)

著

相手に誠心が響く礼法を小笠原流礼法宗家が
直々に指南する、武道関係者必読の一書。



四六判・上製・278頁

◎ご注文・お問い合わせ◎

日本武道館 月刊「武道」編集部
〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3
TEL 03-3216-5147 FAX 03-3216-5158
<http://www.nipponbudokan.or.jp>



剣道男子優勝 高輪高 (東京)



剣道女子優勝 守谷高 (茨城県)



柔道男子優勝 崇徳高 (広島県)



柔道女子優勝 敬愛高 (福岡県)